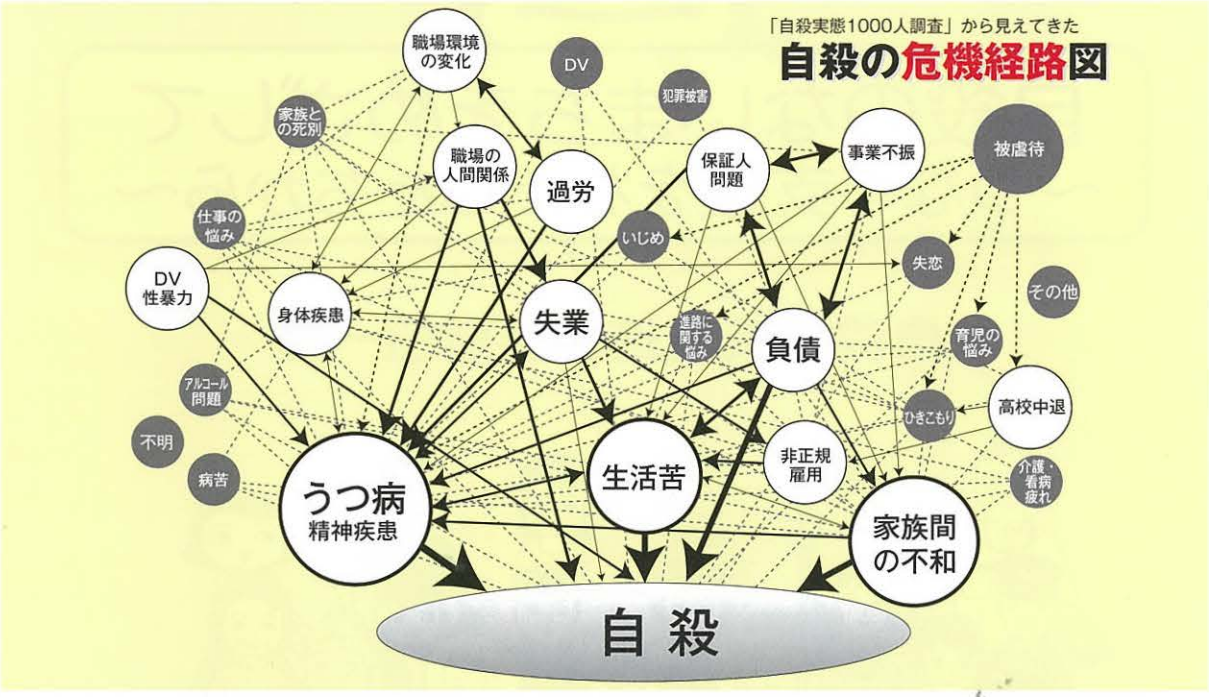
日本の自殺者数は、近年減少傾向にありますが、毎年２万人を超える方が亡くなられています。
久留米市でも、いまだ年間約50人の方が自殺で亡くなられており、社会全体で取り組むべき大きな課題となっています。
自殺に至る原因は様々ですが、「自殺実態白書2013」によると、心やからだの健康問題、家庭の不和、DV（ドメスティックバイオレンス）、生活苦、負債、勤務問題、学校での問題など多種多様にわたり、これらの問題が複雑に重なりあっていると報告されています。
このような中、私たち一人一人がこれらの問題に早く気づき、早期に対処することで、解決の糸口が見出せるかもしれません。また、一つの相談窓口が必要以上に抱え込まず、連携し、切れ目のない対応を行うことが、相談者の生きる支援につながります。



※矢印が太く円が大きいほど、連鎖の強度が高い。

出典：自殺実態白書2013
（NPO法人ライフリンク発行）

久留米市は

誰も自殺に追い込まれることない社会の実現を目指しています

自殺の多くが「追い込まれた末の死」です。
自殺を考えている人は、心理的に追いつめられて、正常な判断ができない状態となっています。
周りが見えなくなり、今の状況を抜け出すためには、「死ぬしかない」と思い込んでしまいます。

病気や家庭のこと、職場環境などの様々な悩みから、心理的に追い込まれてしまうことは誰にでも起こる可能性があります。

サインって
どんなものが
あるのかな・・・？

自殺を考えている人は、悩みながらも「サイン」を出していることがあります。
サインに“気づく”ことが自殺対策につながります。